

稼働一辺倒を見直し、
安全運航、人材確保、
健康で働き続けられる
労働環境に変えよう

フェニックス

PHOENIX

<発行者>
航空安全推進連絡会議 03-3742-9359
日本乗組員組合連絡会議 03-5705-2770
航空労組連絡会議 03-3742-3251
<http://www.kohkuren.org/>

航空安全の前進に向け関係省庁に要請



航空局に要請する安全会議メンバー（写真右側）

継続的な要請項目 で改善が叶う

要請には予算措置や空域の大規模な見直しなどを要請する活動を行っています。要請内容は、毎年冬に実施する「航空安全の確保に関するアンケート」をもとに決定され、今年も本部・支部において、10を超える国・自治体・空港会社に要請を行いました。本部では5月の東京空港事務所（羽田空港）を皮切りに、東京航空局・航空局・厚生労働省・気象庁・運輸安全委員会の6カ所に要請しました。

国・自治体・空港会社に 不安全解消へ着実に前進

常時に長い時間を要します
度決定すると改善には非

たものとして、今年の通

り、多くは継続的な要請となっています。しかし、今年の要請では、そのような要請内容の中で3つ大きな進展がありました。

1点目は宮崎空港のS滑走路を来年度廃止する。2点目は東京国際空港の計画進入方式ILSと繋がるSTAR（標準到着経路）を設定する。3点目は那覇空港の新設滑走路について、北側からの進入のためにILSを設置する。特に3つの設置は、新設滑走路について「事前対応的に要請を行い現場の声を反映させたものです。空港のレイアウトや方式は一律であります。この要請は時宜を得て決まります。

要請をするものもあり、多くは継続的な要請となっています。しかし、今年の要請では、そのような要請内容の中で3つ大きな進展がありました。

1点目は宮崎空港のS滑走路を来年度廃止する。2点目は東京国際空港の計画進入方式ILSと繋がるSTAR（標準到着経路）を設定する。3点目は那覇空港の新設滑走路について、北側からの進入のためにILSを設置する。特に3つの設置は、新設滑走路について「事前対応的に要請を行い現場の声を反映させたものです。空港のレイアウトや方式は一律であります。この要請は時宜を得て決まります。

情勢の変化に 対応した新規要請 セキュリティ対策

す。そのため安全会議は事前に情報収集を行い、検討段階からいちじるしく要請を行ってきました。

対応した新規要請 セキュリティ対策

新規要請の特徴的な点としては、急速に技術革新を遂げる無人航空機や自動運転技術などに関する要請、ラグビーワールドカップや東京オリーパラを見据えセキュリティに関する要請、航空交通量増大に関する要請が多くみられることがあげられます。

日本が世界的なイベントを控えているなかで空港や航空機に対する対策になり越えて、航空機内に急病人が発生した場合、可能な限り最寄りの空港への着陸を試みます。しかし日本では、空港が24時間運用されているにも関わらず、深夜、地上の救護体制が整っていないため、より遠い空港へ着陸せざるを得ない事態も発生しています。今年1月に発

救命を最優先に 救急体制の構築

空港の保安検査員等については、待遇の低さなどから人材不足や人材流出が課題となっているため、この点についても改善を要請しました。当局からは「人材確保については運営者と協議をしていく」と新型検査機の導入などで検査員の負担の軽減を図って行くとの回答がありましたが、保安検査はセキュリティの要の一つであることは間違いないことから、実効性のあるものとなるよう引き続き要請します。

- ▶迫る首都圏発着枠拡大、東京オリンピック。グラハムの人員確保急務。グラハムが航空局に申し入れ
- ▶KLM雇止め撤回裁判一會社がこれまでの主張を変化、ずさんな反論が早くも露呈
- ▶JAL解雇争議一稼働強化で高まる人的リスク。争議解決し安全・安心のJALへ
- ▶エミレーツ航空解雇争議一中労委「命令は12月までに出したい」
- ▶第7回航空セミナーで国道交通労組と航空連が、疲労管理で共同提言発表

労働相談は航空連に
03-3742-3251
e-mail: honbu@kohkuren.org

2019年8月1日



＊要請の詳細について
は、要請の詳細は安全
会議ホームページ
<http://jfas-sky.jp/>
内の「要請書」より
確認ください。QRコードでもアクセスできます。

天皇が戦争の終結を発表したのは1945年8月15日。毎年に政府によって先の大戦による日本の戦没者は軍人・軍属230万人・民間人80万人が命を落とした。なかでも多くの民間人犠牲者を出したのが沖縄戦でした。住民の4人に1人が亡くなっています。そのため安全会議では事前に情報収集を行い、検討段階からいちじるしく要請を行ってきました。

語道路

8月には戦争での反省を込め、全国で様々なイベントが開催されます。●5年前の本欄に、「政府によると、先の大戦による日本の戦没者は軍人・軍属230万人・民間人80万人が命を落とした。なかでも多くの民間人犠牲者を出したのが沖縄戦でした。住民の4人に1人が亡くなっています。このことには認識している」としていま

す。命に関わる重要な事項であるため、早急に改善につながるよう引き続き要請を行います。

航空の安全にとって平和ブランドとして、世界で広く知られるようになっています」と記しました。結びは、平和主義としての航空について、「ウクライナ上空を飛行中のマレーシア航空機がミサイルで撲滅された」という、あってはならない不幸な出来事が起きました。そのことはまた、民間航空の安全にとって平和が何より大事であることを示した。「航空は平和産業」がまだかこそ、その願いを新たにしました。過去には映画『沈没太陽』で、忘れられない場面があります。整然と並ぶ多数の棺。圧倒的は迫力を感じます。193便事故以降、日本の航空会社は人命を損なう事故を起こしてしません。企業の神経たる労働組合も大きく寄与してきたものと確信しています。再確認したい。

